



3

特集

新学習指導要領下の
授業改善
真に組織的な
取り組みにするための
4つのポイント

- 巻頭 未来を描く！ 創る！
イノベティブな生徒たち
「まち部。」
糟谷 遙さん（3年生）
本田和花奈さん（3年生）
大平彩代さん（1年生）
吉田歩花さん（1年生）
奈良県・大和高田市立高田商業高校
- 42 これからの進路指導のための
世の中トレンド解説
トレンド・ワード
メタバース
- 60 Reader's VIEW

<https://view-next.benesse.jp/>
本誌記事は、ウェブサイトVIEWnext ONLINEでもご覧いただけます。

印刷製本／(株)協同プレス
編集協力／(有)ベンダコ
執筆協力／二宮良太、長谷川 敦
撮影協力／熱田智寿佳、荒川 潤、木村琢磨、福山 哲、ヤマグチイッキ
※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。また、敬称略とさせていただきます。 ※本誌記載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。
©Benesse Corporation 2022

27 For School Section

28 お勧めの分掌▶ 管理職 教務担当 進路担当
指導変革の軌跡 かすかべ
埼玉県・私立春日部共栄中学高校
考査・授業時程・学期制の改革
中間考査廃止 # 単元テスト # 完全週5日制 # 45分授業

32 お勧めの分掌▶ 管理職 教務担当
—疑問や課題を解決！実践につながる！— 新課程レポート
テーマ 生徒とともに深める観点別評価
広島県立安芸府中高校
ルーブリック # 生徒とつくる評価 # 三者懇談でプレゼン

36 お勧めの分掌▶ 学年団 担任
輝く学年団を訪ねて
北海道・私立札幌第一高校 2021年度3学年団
自律的な学習を促す # 進路コンパス # 学校が大好きな生徒

40 お勧めの分掌▶ 管理職
学校危機管理 基礎講座
テーマ 学校管理下での事故
大半が部活動と保健体育 # ヒヤリ・ハットを軽視しない # 生徒への安全教育

43 For Teacher Section

44 お勧めの分掌▶ 教務担当 担任
発問・課題設定をキーに見る 主体的・対話的で深い学び 授業実践
化学
山口県立山口高校 石田純一
ペアワークが授業の軸 # 生徒がつくる「私の問い」 # 単元ごとの「変容シート」

48 お勧めの分掌▶ 進路担当 学年団 担任
マイ・ストーリーを語る生徒を育む進路指導
岩手県立福岡高校
3年次8・9月 志望理由書の作成・面接指導
面談で志望の掘り起こし # クラス集団の力 # 50回以上の模擬面接

50 お勧めの分掌▶ 進路担当 学年団 担任
変化の激しい社会に飛び込む生徒に伴走 クローズアップ！ 就職指導
北海道札幌真栄高校 しんえい
志望先への熱意の言語化 3年次8月・9月(応募書類の作成～面接指導)
大人目線でのリライト # 自分と企業をつなぐキーワード # 志望理由書を書く視点

52 お勧めの分掌▶ 学年団
チーム新課程学年主任
9月10月のポイント
生活リズムの確立 # 文理選択への意識づけ # アーカイブ配信のお知らせ

新学習指導要領下の 授業改善

——真に組織的な取り組みにするための4つのポイント

高校の新学習指導要領が実施されて4か月が過ぎました。ご勤務校の1学年団や1年生の様子はいかがでしょうか。新学習指導要領の理念を実現する場の中心となる授業については、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの改善が求められています。その視点は、以前は「アクティブ・ラーニング」と呼ばれ、既に多くの授業改善の実践が蓄積されてきました。ただ、そうした授業改善が組織的に進んでいるのかというと、その割合は2割強にとどまっています（弊社の調査結果[*]より）。また、「全教科・科目の授業に、生徒同士による対話の時間を設けるようにしている」など、形式的な面のみをもって「組織的に取り組んでいる」としてしまっているといった声をお聞きすることも少なくありません。かつて「アクティブ・ラーニング」が「活動あって学びなし」と懸念されたように、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの組織的な授業改善が、「形そろえて学びなし」とならないように留意することが求められます。では、どのような状態になっていれば、真に組織的に推進できていると言えるのでしょうか。今号は、その点について、現場の声や識者の見解、4月号の特集に登場した3校の実践を基に考えます。

VIEWnext 編集部 統括責任者 柏木 崇

P.4 課題整理

教師の「リフレクション」の質を高め、4つのポイントを踏まえて、学校全体で授業改善を推進
国立教育政策研究所 研究企画開発部 総括研究官 千々布敏弥

P.7 実践事例1 千葉県立千葉北高校

育成を目指す資質・能力と評価規準を示したシラバスを、全科目で作成
授業実践 P.8 国語 P.10 生物

P.13 実践事例2 静岡県立静岡東高校

「総合的な探究の時間」の不断の改善が、教科の授業改善にもつなげる
授業実践 P.14 総合的な探究の時間 P.16 化学

P.19 実践事例3 広島県立神辺旭高校

マスタールーブリックを礎に、生徒の主体的な学びを支援する
授業実践 P.20 地理 P.22 英語

P.25 本特集テーマのnext

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることで、
「主体的・対話的で深い学び」を実現
上智大学 総合人間科学部教育学科 教授 奈須正裕

* ベネッセ教育情報センター「教育・入試改革対応に関する調査」（2021年2～3月にウェブとファクスで実施。回答校数 1,024校）